

国際保健課題別講座「疾病対策」

— 低中所得国における疫学調査「クラスタ・サンプリングの理論と実際」—

募集要項

2018年10月

1. 背景

NCGMはグローバル医療戦略の一つとして、グローバル人材の育成を掲げており、国際医療協力局にはグローバルヘルスの潮流をリードできる人材を養成することが期待されています。これまで、広い視野を持ち、それぞれの立場や職責において貢献ができ、グローバルに活躍できる日本人保健医療人材の育成に向けて、さまざまな研修事業を行ってきました。

昨今のグローバルヘルスの潮流として、持続可能な開発目標（SDGs）の達成が重要なテーマとなっています。ヘルス（健康）に関するSDGsのGoal3のターゲットには、「エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった感染症を終息させるとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する」「非感染症疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する」と明記されており、疾病対策はSDGs達成に向けて重要テーマの一つとなっています。

2. 講座概要

本講座では、「疾病対策」をテーマに開講いたします。

国際保健医療協力における「疾病対策」において不可欠な「疫学調査」を取り上げ、具体的には、低中所得国の住民の疾病有病率や疾病予防策を行っている世帯の割合を調べる際に有用な「クラスタ・サンプリング」という調査法について講義し、サンプルサイズの計算、人口比例抽出、probability weight（重み付け）の計算等の演習を通して、受講者が自ら取り組む疫学調査に応用できたり、調査結果を正しく解釈できたりすることを目標としています。

3. 到達目標

低中所得国の住民の疾病有病率や疾病予防策を行っている世帯の割合を調べる際に有用な「クラスタ・サンプリング」の基本概念を理解し、実施方法の一部を習得する。

4. 研修日時：平成30年11月17日（土） 13:00～16:30

5. 研修場所：国立研究開発法人国立国際医療研究センター

国際医療協力研修センター4階 セミナー室3・4

6. スケジュール

時 間	講義・演習内容・タイトル
13:00～ 13:10	開校式
13:10～ 14:10	クラスタ・サンプリングの原理と方法について ◎低中資源国におけるクラスタ・サンプリングの実施プロセス ◎質疑応答 ◎サンプルサイズの計算（講義と演習）
14:10～16:20	クラスタ・サンプリングのデザイン～5つのステップ ◎必要なサンプル数の推定 ◎層化とクラスタ数、クラスタ内サンプル数の決定 ◎クラスタの抽出、確率比例抽出法 ◎集落（クラスタ）内の世帯のリスティングと抽出 ◎データ分析 ◎総括質疑
16:20～16:30	修了式、アンケート記入

研修は日本語で実施。資料は日本語および英語版。

7. 募集人員 30名

8. 受講費 7,000円（税込）（当日、来場時に受付にてお支払いください。）

9. 参加資格

- （ア）国際保健、国際協力に関する業務、研究、教育に携わったことのある方、
または今後携わる予定の方
- （イ）国際保健、国際協力に関する基本的な知識を有する方
- （ウ）年齢20歳以上の方
- （エ）上記（ア）（イ）（ウ）を満たして、本講座に終日参加可能な方

10. 修了証書の授与

本講座修了者へは修了証書を授与します。

11. 参加手続

NCGM国際医療協力局HPより申込用紙をダウンロードし、ご記入の上
下記アドレスへ添付にてご送付によりお申込みください。

<http://kyokuhp.ncgm.go.jp/>

e-mail : kensyuka@it.ncgm.go.jp

応募期限 平成30年11月15日（木）メール必着

12. 受講者の決定 先着順として、定員に達し次第募集を終了します。

13. 研修実施事務局

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局研修課 課題別研修事務担当

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

TEL（代表）03-3202-7181（内線）2742

e-mail : kensyuka@it.ncgm.go.jp